

# ミゼラブルの雫

---



君はなぜ泣いているの？  
知らんぷり もう出来ない  
悪戯に笑い合える 君が  
いい

你爲什麼在哭呢？  
已經不能再裝作沒有看到  
捉弄人之後笑還回來 那  
樣更適合你

---

『同情』や『共感』は後  
付け  
とにかく君が心配  
素直に「笑って」と言え  
ば  
元通りになると思ってた  
よ

說「同情」或「共鳴」都  
是馬後炮  
總之還是擔心你  
以爲單純地一句「笑一  
下」  
就能回到原來的樣子

---

哀しみが零れ落ちて  
足元を濡らしてゆく  
幼気で深い 君の見過ご  
せぬ  
小さな海は  
安っぽい慰めでは  
汲み取れはしないと知り  
励ましや 問うことさえ  
躊躇った

悲傷的眼淚零落  
沾溼腳旁足畔  
無法忽視楚楚可憐的你  
  
小小一灘海  
掉價的安慰  
也知道大概不能感同身受  
鼓勵的話 甚至詢問緣由  
都躊躇了

---

優しく接してあげたい

想能夠溫柔地接觸你

だけれど どうすればいい？

迷った言葉なんかより  
優しく頭を撫でてあげた

但是話說 該如何做呢？

比起令人困惑的言語  
選擇溫柔地摸摸你的腦袋

---

哀しみが零れ落ちて  
足元を濡らしてゆく  
幼気で深い 君の見過ごせぬ

小さな海は  
寄り添って 弱い気持ち  
汲み取ってゆけばいいさ  
『手を握る』 それだけでも  
今はいい

悲傷的眼淚零落  
沾溼腳旁足畔  
無法忽視楚楚可憐的你

小小一灘海  
並肩靠着 微弱的心情  
如果你能體會到的話就好  
只要能握住你的手

現在就足夠

---

時は経ち 次第に  
君は心を解いてくれた  
時間には敵わないね  
優秀だ

隨着時間經過  
你的心結也漸漸解開  
沒有東西能與時間爲敵  
真厲害

---

ちっぽけで弱い自分  
無力さを知ってしまった  
でも君は「ありがとう」って

微小又柔弱的自己  
知道了自己的無力  
但是你的一句「謝謝」

微笑着 涙ぬぐった  
「ねえ、いつもの冗談で  
笑わせて？」

微笑着 溼潤了我的眼眶  
「呐、再講一次那個笑話  
吧？」

ほらやっぱり  
無邪氣にからかう君は素  
敵だよ

你看果然  
天真無邪地捉弄人的你真  
是太棒了

---

還能不能，讓時間治癒一切呢。

---

きみ な  
君はなぜ泣いているの？  
し でき  
知らんぷり もう出来ない  
いたずら わら あ きみ  
悪戯に笑い合える 君がいい

どうじょう きょうかん こう っ  
『同情』や『共感』は後付け  
きみ しんぱい  
とにかく君が心配  
すなお わら い  
素直に「笑って」と言えば  
もと とお おも  
元通りになると思ってたよ

---

かな こぼ お  
哀しみが零れ落ちて  
あしもと ぬ  
足元を濡らしてゆく

いたい け ふか きみ み す  
幼 氣で深い 君の見 過ごせぬ

ちい うみ  
小 少な海は

やす なぐさ  
安 っぽい慰 めでは

く と し  
汲 み取 れはしないと 知 り

はげ と  
励 ましや 問 うことさえ

ためら  
躊躇 った

---

やさ せつ  
優 しく 接 してあげたい  
だけれど どうすればいい？

まよ ことば  
迷 った 言葉 なんかより

やさ あたま な  
優 しく 頭 を撫 でてあげた

---

かな こぼ お  
哀 しみが 零 れ 落 ちて

あしもと ぬ  
足 元 を濡 らしてゆく

いたい け ふか きみ み す  
幼 氣で深い 君の見 過ごせぬ

ちい うみ  
小 少な海は

よ そ よわ き も  
寄 り 添 って 弱 い 気 持 ち

く と  
汲 み取 ってゆけばいいさ

て にぎ  
『 手 を 握 る 』 それだけでも

いま  
今 はいい

---

とき た しだい  
時は経ち 次第に

きみ ところ と  
君は心を解いてくれた

じかん かな  
時間には敵わないね

ゆうしゅう  
優秀だ

---

よわ じぶん  
ちっぽけで弱い自分

むりよく し  
無力さを知ってしまった

きみ  
でも君は「ありがとう」って

ほほえ なみだ  
微笑んで 涙ぬぐった

じょうだん わら  
「ねえ、いつもの冗談で笑わせて？」

ほらやっぱり

むじゃき きみ すてき  
無邪気にからかう 君は素敵だよ